

事務事業評価シート

事業番号 No. 3	事務事業名 社会参加マッチング事業費	所管部課 高齢者支援課
---------------	-----------------------	----------------

基礎情報	事業開始時期【1】	令和5年度	実施形態【2】	☐ 直営 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ その他 ()			
	根拠法令等【3】						
	総合計画【4】	基本目標	3 笑顔で自分らしく暮らせるまち	基本施策	8 いつまでも健康で元気に暮らすために	施策	8-2 高齢者の社会活動や生きがいの充実
	個別計画【5】	計画	西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第9期)	施策等①	1-3-4社会参加のさらなる促進	施策等②	

事務事業の概要	事務事業の目的と目指す成果【6】	活動を希望する高齢者と、活動の担い手を求めている団体等を結びつけることで、高齢者の社会参加を促進し、高齢者のフレイル予防に資することを目的とする。				
	事務事業の内容・実施方法等／補助の概要【7】	【事業内容】 生涯現役応援サイト・窓口を通じて、多様なニーズを持つシニア・プレシニアが自らの希望に応じてボランティア、趣味活動、就労活動などの社会参加をする機会をマッチングする。 【実施方法】 ■生涯現役応援サイト「ミーツ(meets)」 ・生涯現役応援窓口サイト上に情報を掲載し、活動希望者と担い手を結ぶ。 ・登録対象者：(個人)50歳以上の市民、(団体)活動の担い手を必要としている団体・企業等(老人クラブ、いこいなサロン等) ■生涯現役応援窓口「ミーツ(meets)」 ・週3日(火曜・木曜・金曜)午前9時30分～午後3時 田無第二庁舎高齢者支援課内に開設 ・スマホ等の使用が不慣れな高齢者を対象に、窓口で登録のサポートを実施 【特記事項】 令和5～7年度は東京都の「人生100年時代社会参加マッチング事業補助金」を活用。令和8年度からは、「高齢者施策推進区市町村包括補助」を活用。窓口サイトをリニューアルし、窓口開設日を週5日に変更する。				

事業費データ	項 目		令和5年度(決算額)		令和6年度(決算額)		令和7年度(決算見込額)		令和8年度(予算額)		単位
	事業費計【8】		9,958		9,989		9,989		8,646		千円
	財源内訳	国庫支出金・都支出金	9,958		9,989		9,989		8,646		
		その他()									
		一般財源									
	人件費計【9】		1,341		1,487		1,487		1,487		
	内訳	正規職員	0.20 人	1,341 千円	0.20 人	1,487 千円	0.20 人	1,487 千円	0.20 人	1,487 千円	
		会計年度任用職員	人	千円	人	千円	人	千円	人	千円	
総コスト		11,299		11,476		11,476		10,133			

活動実績	項目	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		単位
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	
⑩	①新規個人会員登録数	-	40	-	52	-	85	90	-	人
	②新規団体会員登録数	-	36	-	14	-	5	10	-	団体

成果指標	項目	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		単位
		目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	見込値	
	活動登録件数	30	54	40	131	50	54	60	-	件
	①【成果指標の説明】	生涯現役応援サイト「ミーツ(meets)」で登録されている活動件数(1個人や1団体で複数の活動内容を登録することが可能)								
	マッチング件数	-	26	-	19	-	60	70	-	件
	②【成果指標の説明】	生涯現役応援サイト「ミーツ(meets)」・窓口を利用して、活動を希望する高齢者と担い手を求めている団体がマッチングした件数								

事業環境等	事業実施においての課題点と改善に向けての取組【12】	高齢者はサイト上でのマッチングが難しかったため、高齢者が直感的に操作して情報を得ることができるサイトにリニューアル中。	
	他団体の実施状況【13】	東京都の「人生100年時代社会参加マッチング事業補助金」の活用自治体は多摩26市のうち3市(狛江市、西東京市、八王子市)	
	代替・類似サービスの有無【14】	☐ 有	☒ 無

【検証項目】

		一次評価	二次評価	本部評価	
検証項目 【15】	必要性	事業の実施が国・都の法令等で定められている	非該当	非該当	
		市が主体となって実施しない場合、市内における当該サービスの提供が不十分になる恐れがある	該当	該当	
		現下の社会経済情勢に見合った事業である	該当	該当	
	有効性	成果指標の達成状況はどうか	3	3	0 /9
		上位施策等の目的の達成に向けて事業の対象は適切か	3	3	
		上位施策等の目的の達成に向けて事業の内容・実施方法は適切か	3	3	
	効率性・経済性	業務プロセスに改善の余地はないか	2	2	0 /9
		投入したコストが活動実績に見合っているか	3	3	
		国・都の補助金や受益者負担など、一般財源以外の財源確保がされているか	3	3	

【一次評価・二次評価】

一次評価 【16】	必要性	ボランティア、趣味活動、就労活動など、高齢者が社会参加できる場を包括的に紹介できるサイトや窓口が無かったが、この事業を実施することにより、活動を希望する人と担い手の需要と供給を広く満たすことができる。	二次評価 【17】	必要性	高齢者の社会参加を促進し、フレイル予防に資する取組であることから、一つのツールとして一定程度、必要性は認められる。
	有効性	活動登録件数・マッチング件数は年度により多少の増減があるものの、一定の件数実績があり、生涯現役応援窓口・サイトを通じて高齢者の社会参加活動や生きがいづくりを達成している。		有効性	登録者数やマッチング数は十分成果が出ているものとはいえない。高齢者の誰もが使いこなせる訳ではないことから、デジタルデバインド対策を実施するなど、更なる充実を図りたい。
	効率性・経済性	サイト上の操作が不慣れな市民が多く、窓口・電話での希望の聞き取りや操作を補助することが職員の負担となっているため、サイト操作をフォローする基礎的なスマホ講座等を実施・活用することで職員の負担を軽減している。		効率性・経済性	サイトのリニューアルによる操作性や分かりやすさの向上を期待する一方、サイトの操作に不慣れな利用者への対応など、職員の事務負担が大きいため、民間サイトへの移行などを含め、運用方法については再検討の余地がある。

【外部評価】

評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等【18】	

【行革本部評価】

	コストの方向性	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
	総合評価	

改善の方向性と今後のスケジュール【19】	
----------------------	--